

## 第1章 研究の目的と方法

### 第1節 基礎研究の基本フレーム

本研究の目的は、職業能力開発促進法に定められている「職業訓練基準」の各分野別基準が、厚生労働省において今後順次見直しが行われる予定であることから、その一助となりうるよう、有益な検討素材を提供することにある。

本研究は、厚生労働省からの研究テーマを受け、職業能力開発総合大学校能力開発研究センターにおいて平成18年度から継続的に実施することとなったものである。以下に、研究フレームの概要を記す。

#### 1-1 研究の目的

- (1) 「職業訓練基準」は、職業能力開発促進法第19条に、「公共職業能力開発施設は、職業訓練の水準の維持向上のための基準として、当該職業訓練の訓練課程ごとに教科、訓練時間、設備その他の厚生労働省令で定める事項に関し厚生労働省令で定める基準に従い、普通職業訓練又は高度職業訓練を行うものとする。」と定められ、職業訓練の水準を維持向上させ、労働者の職業生活の全期間にわたって段階的かつ体系的な職業訓練が実施できることを目的としている。

このため、この基準は職業訓練を効果的かつ速やかに実施するための重要な施策の一環として運用されてきた。

しかしながら、近年、社会や産業構造の変化、技術技能の著しい進展等により、労働者の就労環境は多様化し、職業訓練を実施する環境が大きく変化しつつある。

今後とも産業や地域、個人ニーズ等に対応した訓練を的確に実施していくためには、産業や人材育成ニーズの動向、訓練実施後の評価等に基づいた、効果的な訓練科や教科目の設定及び見直し等を不断に行っていく必要がある。

- (2) 現行の職業訓練基準は、平成5年に大きく見直されて以来約10数年が経過しており、厚生労働省にて概ね5年程度をかけ各分野別に順次見直しが予定されている。

そこで本研究では、その一助となりうるよう、今日の技術・技能や能力開発ニーズの動向、訓練運営の実態等に関する調査研究を通して、職業訓練基準の適正な見直しや弾力的訓練の設定等に寄与しうる基礎的研究を行う。

#### 1-2 研究の内容

- (1) 公共及び認定職業訓練において実施されている各訓練系や専攻科を、現代の産業・技術の動向、具体的な能力開発ニーズ等に的確に対応した内容とするため、今日的視点から職業訓練基準や細目のあり方を研究する。
- (2) 職業能力開発促進法に定められた「普通職業訓練」を対象とし、本研究では、普通

職業訓練の「職業能力開発促進法施行規則（昭和44年労働省令第24号）別表第2（普通課程）」（以下、「別表第2」という。）の見直しを中心に行う。

(3) 具体的には、訓練系・専攻科ごとに現行基準の点検見直しを行い、指標を示す。

①別表に示された訓練基準の概要を見直す。（訓練系・専攻科の分類、名称、技能・知識の範囲、教科、訓練期間（時間）、設備の種別・名称）

②上記に係る重要な細部基準を見直す。（教科の細目、設備の細目）

(4) その他、当該分野の職業訓練の発展に寄与する観点からの成果を適宜付加する。

### 1-3 年度別計画

(1) 対象分野は、毎年1～2分野とし、概ね5年で主要な分野を実施する。

(2) 当面以下のような取り組みを予定する。

（平成17年度 金属・機械分野…厚生労働省・専門調査員会にて一昨年度検討済み）

平成18年度 電気・電子分野（1年目、実施済み）

平成19年度 建築・土木、非金属加工分野（2年目、実施済み）

平成20年度 情報・通信、サービス、食品分野（3年目、今年度）

平成21年度 農林、繊維・繊維製品、デザイン、化学、医療分野（予定）

平成22年度 機械・金属、運搬機械運転分野(予定)

### 1-4 成果の活用

(1) 厚生労働省における活用

当該分野の研究を終えた翌年度には、厚生労働省職業能力開発専門調査員会（以下「専門調査員会」という。）で省令改正に向けた検討が行われる予定であり、そのため  
の基礎資料を提供することを念頭に置く。

検討経緯を示すため、成果品、参考資料等を残していく。

(2) 各職業能力開発施設等における活用

産業・技術動向、人材ニーズ、訓練内容等に関する参考資料として活用に供する。

## 第2節 平成20年度の研究概要

上記フレームに従い、3年目である本年度は、「情報・通信、サービス、食品分野」を対象として基礎研究を行う。具体的には、学識経験者や職業訓練の関係者等で「基礎研究会」を組織化し、年度末に検討成果を報告書としてまとめる方法を取った。

### 2-1 平成20年度研究の概要

(1) 研究会名：「職業訓練基準の分野別見直しに係る基礎研究会

「平成20年度 情報・通信、サービス、食品分野」

- (2) 検討分野：情報・通信、サービス、食品分野
- (3) 研究期間：1年（3年目／5年計画）
- (4) その他：必要に応じ、訓練施設や企業・団体等へのヒアリング調査を実施

## 2-2 研究内容

下記の各点について、「別表第2」の見直しを中心に行った。

- (1) 当該分野に係わる産業・技術、人材育成ニーズ等の動向
- (2) 当該分野の職業訓練の動向と課題
- (3) 当該分野の訓練系・訓練科のあり方
- (4) 各訓練科の訓練基準の見直し
- (5) 上記に係る必要な実態調査、その他

## 2-3 研究会の構成

本格的な見直し検討を進めるために、委員は以下のような民間、公共、学識経験者等によるバランスある構成を配慮した。

本年度は、職業訓練を実施する環境が変化する中で見直しの必要性が高い情報・通信分野を優先的に取り扱い、委員は職業訓練の基本分野と情報・通信分野に関わる専門家を中心に構成した。不足する個別分野については、ヒアリングやアンケート調査等で補う方法を取った。

- |            |             |               |       |
|------------|-------------|---------------|-------|
| (1) 委員     | ・民間等3名      | ・情報処理関係機関     | 1名    |
|            |             | ・情報処理技能者養成施設  | 2名    |
|            | ・公共職業訓練関係2名 | ・東京都          | 1名    |
|            |             | ・神奈川県         | 1名    |
|            | ・学識経験者2名    | ・情報分野         | 1名    |
|            |             | ・通信分野         | 1名    |
| (2) オブザーバー | 5名          | ・厚生労働省職業能力開発局 | 4名    |
|            |             | ・(独)雇用・能力開発機構 | 1名    |
| (3) 事務局    |             | ・能力開発研究センター   | 3名    |
|            |             |               | 計 15名 |

## 2-4 研究成果

以下の内容を含む形で記述して報告書をまとめた。

- (1) 「別表第2」の見直しに係る検討成果

- ・サービス、食品分野については、分類されている訓練科のうち、設置・運営がなされている訓練科を対象に、設置科が多い訓練科を優先して見直した。
- ・各訓練系・訓練科ごとに、「別表第2」の内容を見直した。(訓練系・専攻科の分類、名称、教科、技能及び知識の範囲、教科の細目、訓練期間(時間)、設備の種別・名称等)
- ・情報・通信分野において、新訓練科の設置に係る検討もなされたが、具体的な提案には至らなかった。

(2) 詳細基準の「教科の細目」、「設備の細目」に係る検討成果

- ・「教科の細目」は、上記別表に連動することから、細部にわたって見直した。
- ・「設備の細目」は、実情に即して必要最低限なものを見直した。
- ・その他の細部基準(「教科編成指導要領」、「技能照査の基準の細目」、「指導員免許の試験科目」)の見直しは、時間的制約から見送った。

(3) その他、上記検討に係わる参考資料の取りまとめ

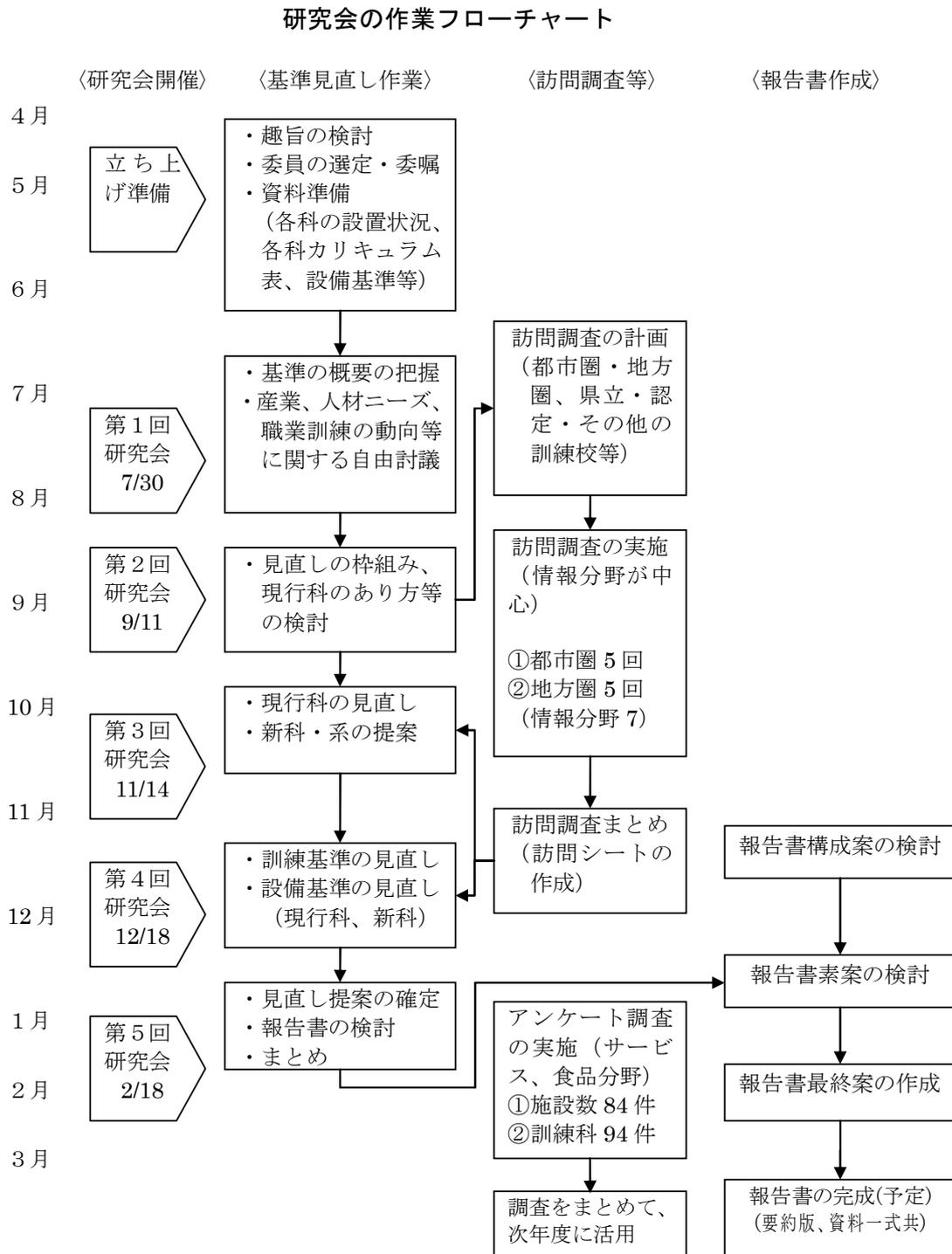
(4) サービス、食品分野の訓練科については、アンケート調査及びヒアリング調査による意見招集の取りまとめや各委員による情報収集を行った。その結果から見直しの可否について検討した。

特に社会福祉系の介護サービス科については、昨今の雇用情勢の問題や医療・介護関係の人材不足が課題とされており、人材育成を担当する職業訓練の役割が、さらに重要とされていることから、引き続き研究を取り組むことで調整を図ることとした。

### 第3節 研究の経緯

#### 3-1 研究会作業のフローチャート

上記内容について、1年間にわたり基礎研究を行った。以下に、研究会の作業経緯をフローチャートの形で示す。(図1-1)



(図1-1) 研究会作業のフローチャート図

### 3-2 研究会の開催

研究会は、1～2ヶ月毎のペースで計5回開催した。(表1-1)

進め方として、産業や人材ニーズ、訓練情勢を取り巻く課題等の大きな流れから徐々に具体的見直しに入って行く方法を心がけた。

研究会開催にあたり、各種の基礎資料等を事前準備し、現状と課題の共通理解、見直し方向の検討、訓練基準の見直し作業を行った。

見直し対象分野の都道府県立訓練施設と認定訓練施設の現行設置科を調査し、双方の実情を勘案しながら、見直し作業を行った。

日頃、実際に各分野の訓練に当たられている現場の先生方の声を集約していただくなど、各委員からの有益な情報提供・意見交換等を交えながら、議論を深めて行った。

さらに情報・資料収集を補強し、各訓練科の実態把握や意見聴取のために、数箇所の訓練施設を訪問し、ヒアリング調査を実施した。

(表1-1) 研究会の開催経緯

<p>第1回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成20年7月30日(水) 15:00～17:20</li> <li>・場所：生涯職業能力開発促進センター(東京都墨田区)</li> <li>・議題：(1) 基礎研究会の企画趣旨の説明 (2) 本研究会に対する厚生労働省からの留意点説明 (3) 事務局からの説明             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 職業能力開発促進法と現行の訓練基準                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 職業能力開発促進法及び施行規則(抜粋)</li> <li>② 職業訓練基準の概要(H18研究センター報告書より)                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・第8次職業能力開発基本計画抜粋(厚生労働省)</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>2) 見直し分野、訓練科の設置状況及びカリキュラム表                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 分野別見直しに関する職業訓練分類表</li> <li>② 平成20年度対象分野の訓練科の設置状況</li> </ul> </li> <li>3) 参考資料について                 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 情報処理技術者試験 新試験制度の手引き</li> <li>② H18研究センター報告書(電気・電子分野)</li> <li>③ H16生涯センター報告書「情報サービス産業」</li> <li>④ ヒアリング先の候補例</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>(4) フリーディスカッション             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 情報処理技術者試験の経緯と新試験制度の動向</li> <li>2) 職業訓練の実施状況と課題について</li> <li>3) その他</li> </ul> </li> <li>(5) 次回までの作業のお願い(見直し提案メモの作成)             <ul style="list-style-type: none"> <li>1) 情報・通信分野の人材育成と職業訓練基準の見直し</li> <li>2) 情報・通信分野の具体的見直しについて</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---

<p>第2回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日時：平成20年9月11日（木）14:00～16:30</li> <li>• 場所：創業サポートセンター（東京都港区）</li> <li>• 議題：（1）基礎研究会の運営に係る補足説明             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）スケジュール確認、見直し作業に係る概念図</li> <li>2）訓練科の設置状況（資料の追加・差し替え）</li> </ul> </li> <li>（2）コンピュータカレッジの概要説明・事業内容</li> <li>（3）見直し提案メモについて</li> <li>（4）訓練基準の見直し作業に関する検討</li> <li>（5）次回までの作業のお願い             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）見直しの可否に係る視点の検討</li> <li>2）見直し方針案の作成（事務局）</li> </ul> </li> <li>（6）訪問調査について</li> </ul>
<p>第3回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日時：平成20年11月14日（金）14:00～16:30</li> <li>• 場所：創業サポートセンター（東京都港区）</li> <li>• 議題：（1）ヒアリング調査の経過報告             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）ヒアリング調査集約一覧</li> <li>2）訪問先訓練内容の一例</li> <li>3）学校案内、パンフレット、調査メモ</li> </ul> </li> <li>（2）情報・通信分野の見直し方針(事務局案)とその検討について             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）「別表第2」「教科の細目」について</li> <li>2）設備基準について</li> <li>3）留意点</li> </ul> <p>（参考資料：①見直しに係る視点の検討、②見直し提案メモ）</p> </li> <li>（3）作業分担及び具体的な作業方法             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）作業分担表</li> <li>2）見直し提案に係る作業指示書</li> </ul> </li> <li>（4）その他             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）報告書について</li> <li>2）追加の調査について</li> </ul> </li> </ul>
<p>第4回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 日時：平成20年12月18日（木）14:00～16:30</li> <li>• 場所：創業サポートセンター（東京都港区）</li> <li>• 議題：（1）情報・通信分野の見直し提案とその検討及び決定             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）取りまとめ担当からの説明（提案書、教科・設備の細目）</li> <li>2）全体討議（全体・共通の見直し点、各訓練科の検討）</li> <li>3）討議のまとめ</li> </ul> </li> <li>（2）サービス、食品分野の見直しについて             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）ヒアリング調査の経過報告</li> <li>2）追加調査の実施</li> </ul> <p>（資料：①対象科の設置状況、②ヒアリング調査集約一覧）</p> </li> <li>（3）報告書について             <ul style="list-style-type: none"> <li>• 報告書の目次（章立て）、等</li> </ul> </li> </ul>

<p>第5回 研究会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日時：平成21年2月18日（水）14:00～16:30</li> <li>・場所：創業サポートセンター（東京都港区）</li> <li>・議題：（1）情報・通信分野の見直しに係る提案内容の最終検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）現行訓練科の見直し及び新科の提案方向の確定</li> <li>2）訓練基準の提案内容の確定</li> <li>3）設備基準の提案内容の確定</li> </ul> </li> <li>（2）報告書（原稿素案）の検討             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）本編、図表関係について</li> <li>2）資料編について</li> </ul> </li> <li>（3）研究会のまとめ             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）アンケート調査の経過報告（サービス、食品分野）</li> <li>2）その他</li> </ul> </li> <li>（4）今後の予定             <ul style="list-style-type: none"> <li>1）原稿素案に対するご意見</li> <li>2）最終原稿の確認</li> </ul> </li> </ul>
--------------------	---

### 3-3 ヒアリング調査の実施

情報・通信分野の訓練科を中心にヒアリング調査を行った。都道府県立校と認定校の設置数の合計は、訓練科ごとに見ると10前後である。なお、データベース管理科（1年）及びデータベース設計科（2年）は設置科が無かった。

研究会委員の経歴や訓練科の担当経験の有無により、得られない情報を補足する必要があること、訓練科ごとに設置傾向が異なること、首都圏（都市圏）と地方圏では設置事情が異なること等を勘案しながら、訪問先を慎重に選定して行った。

各回の調査には訪問先との調整を図り、事務局が都市圏5回、地方圏5回、総計10回のヒアリング調査を行った。（表1-2）

限られた時間でのヒアリング調査であったが、ここから、訓練現場の運営に関する貴重な見聞や課題の把握、基準見直しに対する要望・意見の聴取、意見交換等、有益な情報が得られた。そして口頭説明及び集約資料等により、研究会委員へ情報提供した。

施設訪問にあたっては、資料の提供、施設見学など多くの施設関係者にご協力をいただき、厚く感謝申し上げたい。

### 3-4 アンケート調査の実施

後述するようにサービス、食品分野の訓練科は、設置数は少ないながらもその種類は多岐に及んでおり、都道府県立校と認定校の間で設置数を比べると認定校の設置数が多くなっている。よって、先のヒアリング調査（3件分）に追加して一様に意見を招集することを目的に、設置科のある全ての対象施設に調査票を送り、アンケート調査を行った。また、普通課程の設置科が無いケースでは、専門分野として参考意見を求めるために短期課程を実施している施設に対しても調査票を送った。（介護サービス科、ショップマネジメント科、フラワー装飾科）（表1-2）

(表1-2) ヒアリング及びアンケート調査の実施概要

ヒアリング調査1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年10月28日(火)</li> <li>・訪問先：①福岡県立福岡高等技術専門学校(福岡県福岡市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ソフトウェア管理科(普通課程1年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年10月28日(火)</li> <li>・訪問先：②福岡県立小竹高等技術専門学校(福岡県鞍手郡) <ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラム設計科(普通課程2年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年10月29日(水)</li> <li>・訪問先：①静岡県立沼津技術専門学校(静岡県沼津市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術科(普通課程2年、システム設計科)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年10月30日(木)</li> <li>・訪問先：①島根県立益田高等技術校(島根県益田市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・OAシステム科(普通課程1年)</li> </ul> </li> <li>※島根県立浜田高等技術校の同科担当者と併せて調査実施</li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年10月31日(金)</li> <li>・訪問先：①島根県立出雲高等技術校(島根県出雲市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・理容科(普通課程2年)</li> <li>・美容科(普通課程2年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年11月4日(火)</li> <li>・訪問先：①千葉県立船橋高等技術専門学校(千葉県船橋市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計科(普通課程2年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年11月5日(水)</li> <li>・訪問先：①愛知県立名古屋高等技術専門学校(愛知県名古屋市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・システム設計科(普通課程2年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年11月12日(水)</li> <li>・訪問先：①茨城県立土浦産業技術専門学院(茨城県土浦市) <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報技術科(普通課程2年、プログラム設計科)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>
ヒアリング調査9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年11月28日(金)</li> <li>・訪問先：①東京都調理高等職業訓練校(認定訓練校)(東京都大田区) <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本料理科(普通課程1年)</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>

ヒアリング 調査10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日 時：平成20年11月28日（金）</li> <li>・訪問先：②（訓）東京都菓子学園（認定訓練校）（東京都豊島区） <ul style="list-style-type: none"> <li>・パン・菓子製造科（普通課程1年）</li> </ul> </li> <li>・訪問者：2名</li> </ul>																																	
アンケート 調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>・期 間：平成21年1月26日～2月27日</li> <li>・対象訓練科：(科名 (課程) 県立校 認定校)</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td>・経理事務科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">6</td> </tr> <tr> <td>・OA事務科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>・ショップマネジメント科（普通1年、短期）</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>・理容科（普通課程2年、他）</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">12</td> </tr> <tr> <td>・美容科（普通課程2年、他）</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">16</td> </tr> <tr> <td>・ホテル旅館レストラン科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>・観光ビジネス科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>・介護サービス科（短期課程）</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>・フラワー装飾科（普通1年、短期）</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">2</td> </tr> <tr> <td>・食肉加工科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> </tr> <tr> <td>・パン・菓子製造科（普通課程1年）</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調査件数：計94件（うち県立校45件、認定校49件）</li> <li>・調査票：巻末の資料編を参照のこと</li> </ul>	・経理事務科（普通課程1年）	2	6	・OA事務科（普通課程1年）	13	1	・ショップマネジメント科（普通1年、短期）	2	2	・理容科（普通課程2年、他）	2	12	・美容科（普通課程2年、他）	1	16	・ホテル旅館レストラン科（普通課程1年）	2	2	・観光ビジネス科（普通課程1年）	4	0	・介護サービス科（短期課程）	19	0	・フラワー装飾科（普通1年、短期）	0	2	・食肉加工科（普通課程1年）	0	1	・パン・菓子製造科（普通課程1年）	0	7
・経理事務科（普通課程1年）	2	6																																
・OA事務科（普通課程1年）	13	1																																
・ショップマネジメント科（普通1年、短期）	2	2																																
・理容科（普通課程2年、他）	2	12																																
・美容科（普通課程2年、他）	1	16																																
・ホテル旅館レストラン科（普通課程1年）	2	2																																
・観光ビジネス科（普通課程1年）	4	0																																
・介護サービス科（短期課程）	19	0																																
・フラワー装飾科（普通1年、短期）	0	2																																
・食肉加工科（普通課程1年）	0	1																																
・パン・菓子製造科（普通課程1年）	0	7																																

### 3-5 見直し内容に関する具体的検討

研究会の開催にあたって、以下のような順序で検討を進めた。

（表1-3）見直しの検討経緯

